

11 玉縄地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 玉縄城跡などの歴史資源、関谷の田園、文教施設など、玉縄ならではの地域特性をいかしたまちづくり。
- 近年のまちの変化を踏まえた、地域コミュニティの醸成につながるまちづくり（新旧住民の交流等）。

目標

目標①
住みやすく地域を活性化する施設整備

方針

①地域資源を活用した施設整備など、歴史的資源を活用し、まちの活性化を図る

②公共施設を整備する

③地域への配慮と高齢者・障害者も安心して生活できるまちづくりを進める

④資源（不要品など）のリサイクルシステムを確立する

取り組み

- 玉縄城跡周辺の環境整備（歴史の道、遺構の公園化等）
- フラワーセンターや大船観音、玉縄城跡などの地域観光資源、歴史資源のネットワーク化
- 歴史的遺産等をつなぐ歩行環境の整備（玉縄トレイル等）
- 公共施設等の開放・緑化

- スポーツ施設等の整備
- 中・高層住宅の建設等におけるコミュニティ施設の併設

- 学校・公園・農地などの防災拠点化
- 地域コミュニティの拠点づくり
- 柏尾川などの河川改修や急傾斜地の崩壊防止工事の実施
- 交通弱者に配慮した道づくり

- 地域リサイクル活動のための公共公益施設の開放

目標②
良好なまちづくりの推進と緑の保全・創出

①関谷・城廻地区の農地をいかしたまちづくりを進める

②文教的住宅地という特徴をいかしたまちづくりを行う

③良好な河川環境の創出を図る

- 市街化調整区域の農地の保全
- 生産緑地地区の保全

- 文教施設と調和した住環境整備
- 法による緑の保全
- 身近な緑の保全・創出
- 公園・広場の緑の保全・創出
- 柏尾川沿いの住宅地における良好な住環境の育成
- 丘陵の低層住宅地の住環境の保全
- 中層住宅地の住環境の保全
- 文教的住宅地に配慮した横浜藤沢線周辺環境の整備

- 河川の自然回復と環境保全・親水化
- 柏尾川などの川沿いのプロムナード*整備
- 谷戸池など、親しみやすい池の周辺整備

目標③
交通環境の充実と駅前の魅力づくり

①交通環境を向上させる施設の整備と公共交通の充実を図る

②駅前の魅力づくりを行う

- 横浜市と連絡する新規の道路を横浜市と連携しながら検討
- 横浜市と結ぶ阿久和鎌倉線の整備・改善
- 歩道の拡幅、段差の解消、電線の地中化など生活道路の環境改善（通学路等）
- バスの利便性の向上（巡回型のミニバス、ルートの再編等）
- 自転車利用環境の整備
- 広域的な道路である横浜藤沢線の整備

- 生活型商業地の形成
- 駅前の利便性をいかした業務地（ビジネス集積）の形成の検討
- 岡本二丁目用地の有効活用（公共施設を含む複合施設等）

ソフト面の取り組み

- ・玉縄地域の歴史文化の情報発信
- ・ブランド化された「鎌倉やさい」の販売促進、観光農園、流通等の新たな農業体制づくり
- ・緑地（民有地）の新たな管理モデルの検討（住民参加の方法等）
- ・隣接地との連携（医療サービス等）

検討課題

- ・産業系土地利用の継続及び大規模土地利用の転換に関する具体的なルールづくり（条例の強化等）
- ・文化・芸術を中心とした都市空間の形成（クリエイティブ・シティ）の検討（歴史・文化施設の整備、大学誘致等）

図 地域別方針……玉縄地域

